

令和4年度 音江中央保育園における自己評価

A:よくできている
B:ほぼできている
C:努力が必要

NO	自己評価の観点	評価 %		
		A	B	C
1	保育理念・保育方針・保育の理解について			
	①保育理念・保育所の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	33	67	0
2	食育について			
	①食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	67	33	0
	②旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	67	33	0
	③行事の種類や実施回数は適切である	67	33	0
	④調理員や栄養士の役割が明確になっているか	67	33	0
	⑤季節感のある食材に触れる機会を設けているか	0	100	0
	⑥食を通じた保護者への支援がされているか	0	100	0
	⑦除去食の提供にあたって、間違いがないよう十分に気を配っているか	100	0	0
	⑧乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっているか	67	33	0

【まとめ】

今年度はコロナ感染症による休園が数回ありました。

職員、園児の感染で生活発表会が出来ず、ユーチューブでの配信となりましたが、その他の行事については実施することが出来ました。

子ども主体の保育については、小規模の保育園でできることを考えながら、散歩コースを自分たちで決めたり子どもがしたい遊びの玩具を選ぶなど、できる範囲で進めてきました。

コロナ禍で職員の研修回数が減ってしまいましたが、オンライン研修やキャリアアップの研修については受けることができ、職員間で情報共有を行いました。

子ども達の安全のため、安全対策委員会も毎月開き確認を行いました。

令和4年度の自己評価の結果を基に、職員間で話し合いを実施し、理念や保育目標を再確認し、今後も地域の保育園として子育て支援に努力いたします。